

ドクターが診る 健康相談室

Vol.1

新型コロナで 早期治療を逃さないために



大阪医科薬科大学病院
病院長 南敏明さん

皆さん、近頃、体調はいかがでしょうか？

新型コロナウイルスの感染拡大前は、定期的に「がん検診」などの健康診断を受けたり、体調に変化があれば診療所・病院を受診したりしていたと思います。

医療現場にいる私は、最近特に、症状が明らかに進行してしまっただけで急増していると感じます。一方、一部報道機関の調査によると、全国のがん拠点病院の80%でがん手術件数が減少しているとされます。

これは、がんになる人が減少したのではなく、検診控え・受診控えで、自覚症状がないか、少ない「早期がん」を見つかる機会が失われ、進行がんになって初めて病院を受診するという危機的状況を物語っています。

「新型コロナで〇〇を見逃していませんか」。この視点をテーマに、今号から6回にわたり、本コラムで、市民の皆さんと、健康に生きるために今必要な気付きを共有させていただきます。

血管の病気を 見逃していませんか



大阪医科薬科大学病院
循環器内科 星賀正明さん

血管の病気は、心筋梗塞をはじめとした命をおびやかす病気を招きます。皆さんが、特定健診（メタボ健診）や、高血圧治療を受けるのも、この血管の病気を防ぐためです。

血管は全身にあります。中でも心臓に血を送る冠動脈が重要です。冠動脈が狭くなると狭心症、完全に詰まってしまうと心筋梗塞を起こします。胸の真ん中が拳ぐらいの範囲で押さえつけられる時、症状が落ち着いても油断はできません。新型コロナの感染を恐れ、受診をためらっている場合ではありません。ましてや痛みで冷や汗を伴う場合はすぐに病院に行ってください。

また、忘れてはならないのは、下半身に血を送る動脈の病です。歩くと足や臀部（でんぶ）が痛くなり、立ち止まると痛みは和らぎます。外出を控えていると症状が出にくいのですが、受診が遅れ重症になると、足の切断にまで至る危険があります。

血管の病気は、健診や早めの受診を控えると、重症になるまで気が付かず、命をおびやかすくらい悪くなってしまうかもしれません。当病院では現在、治療数が極端に減少する一方、重症の割合が高くなっています。健康状態に不安がある人や、しばらく健診を受けていない人は早めに医療機関を受診しましょう。